令和３年度第３回

瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会　議事録

日　　時：令和４年３月１０日（木）　午後６時００分から午後７時３０分
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室
出席委員：山内　正雄（委員長）、澤井　芳美（副委員長）、柴田　洋子、
辻本　紀み子、平中　学、大宮　康一

※ 委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事 務 局：瑞　　浪　　市　　長　水野　光二
：まちづくり推進部長　小木曽　昌弘
：市 民 協 働 課 長　加藤　博史
：まちづくり支援係長　渡辺　裕
：ま ち づ く り 支 援 係　中筬　高弘

日　　程：
１．あいさつ
２．市民活動補助金事業審査の進め方について
３．市民活動補助金事業審査
４．ステップアップ事業審査の進め方について
５．ステップアップ事業審査
６．事務連絡
７．閉会

【１．あいさつ】

・市長あいさつ

本日はコロナ禍の中、お集まりいただきありがとうございます。
昨今のコロナの状況ですが、現在感染が広がっている状況にあります。大変対応に苦慮しているところです。園や家庭などもしっかりとコロナ対策を講じていただいているのですが、それでも防ぎきれないといった状況にあります。

今週を目途に来週くらいには減少してくると良いなと感じております。全国的には減少傾向にあります。瑞浪でも感染者０の日が続いておりましたが、しっかりと対策はしておりますが、現在は少し増えている、そんな中での今回の審査会の開催であります。

まちづくりの取組みや各種市民グループの皆さんの活動についても、中止にされる場合もありますし、工夫しながら規模を縮小して開催したりなど様々な対応をいただいています。夢づくり地域交付金や市民活動補助金を活用いただき、活発な活動をしていただいておりましたが、コロナ禍により、ここ２年で少し足踏み状態となってしまっています。今まで培ってきたせっかくの活動が縮小してしまっていることを大変に心配しています。

そうしたことからも令和４年度からは仕切り直しとしてしっかりと活動いただけると良いと思っています。

今日は来年度の活動の審査会ということでありまして、昨年度と同じく明世地区のホタル育成に関する事業、また、ここ最近ずっと活動していただいています、中京学院大学の健康栄養学科さんの野菜コンテストといった２団体を審査いただきます。よろしくお願いいたします。

昨年度は、トリプル・クリエーターズスクワットさんの審査もいただきました、なかなか厳しい評価もいただきましたが、そうした評価・意見をきちんとお伝えしたところ、対応いただき、より効果の上がる方法等で開催いただきました。

おかげさまで、駅前の M ビルという会場で開催しましたが、しっかりと入念な準備をされ、当日は本当に感動的なイベントとなりました。

大学生・高校生といったような若い方々沢山参画いただいて、トップクラスの芸術家と直接会話をしていただいたりもしました。いずれ、来年度には彼らの報告を聴いていただき、改めて活動の評価をしていただければと思います。

いずれにしましても、本日は明世地区まちづくり推進協議会についてのステップアップ事業、中京学院大学健康栄養学科の皆さんの野菜コンテストについての市民活動補助金の審査となります。慎重審議をお願いいたします。

・審査委員長あいさつ

ただ今、市長からのお話しにもありましたが、（新型コロナウイルスについて）わたくしとしては、この状態がいつまで続くのかといった感覚がしております。

ともあれ、そうしたコロナ禍であっても２団体の方々が積極的に活動に取り組まれるということですので、私たち審査委員としてもそうしたことも踏まえながら審査していく必要があると考えております。どうか皆さんよろしくお願いいたします。

【２．市民活動補助金事業審査の進め方について】

≪事務局より説明≫

【３．市民活動補助金事業審査】

中京学院大学短期大学部　野菜コンテストプロジェクトチーム

●委員

まずお話を伺って、東濃地域がこれほどまで野菜摂取量が少ない地域だということを知って驚き、また自覚することもできました。自分も野菜を積極的に摂取し

ていければと思います。ありがとうございました。
このコンテストで入選されたレシピについて協賛店にて提供されているということでしたが、実際にその料理を食べられたお客様のリサーチなどはされたのでしょうか？売り上げのどれくらいが入選レシピだったのかであったりといったようなことをリサーチされていましたら教えてください。

○中京学院

例えばキッチン色菜さんでは、お弁当の総菜の１つとして提供いただいていますので、その料理を注文するということではなく、お弁当を買われるとそのレシピを味わっていただけることになります。
また、こうじキッチン　こぎちゃんさんでは、ランチとして入選レシピの料理を提供くださっていまして、リサーチなどはしていませんが、実際にお店で入選レシピのランチを注文いただいたお客様の感想などはお聴きしていまして、大変やりがいがあったなぁと感じたりはしています。

●委員

ありがとうございます。なぜリサーチの件を質問させていただいたかと申しますと、これだけ注文されて、これだけ野菜摂取率の向上に貢献しているといったことが言えれば、さらに活動を活発化させる良い理由になるとも思いましたし、また例えばきなぁたさんなどでも、それこそ入選レシピのお弁当などが提供されたりしますと、そこをきっかけにしてこのコンテストの認知度や野菜摂取率の認知度が上がるのではないかと思ったからです。
また、日本食ブームもあり、昔ながらの一汁三菜に改めて注目してみるのも良いかとも思います。親としてもそういった健康的な野菜の採り方について、子どもに興味関心を持って学んでもらえるようなことをコンテストに入れ込むような企画もしてもらえると大変ありがたいと思います。今後も期待していますので、頑張ってください。

○中京学院

ありがとうございました。大変貴重なご意見ですので、来年度の参考にさせていただきます。来年度は中学生もコンテストに参加いただくことを計画していまして、大学生、高校生に繋がるものとして考えていきたいと思います。コンテストに単純に参加いただくことだけではなくて、親御さんを通じた食育的な側面も中学生の参加を通じて考えていきたいと思っています。具体的な計画までは立てておりませんが、そういった方向性で検討しています。大きく体が変化する年代でもありますから、特に保護者の方にそういったことの意識付けになると良いと考えています。

●委員

将来を見据えて、小さい頃から健康志向に繋がるものとして野菜摂取率の向上への取組み、大変素晴らしい活動だと思います。発表ありがとうございました。
発表にもございました、岐阜県内の方々の野菜摂取率が低い理由など把握してい

らっしゃいましたら教えてください。
〇中京学院
質問ありがとうございます。岐阜県での野菜摂取率が低い理由については、実は保健所さんのほうでも分からないということでした。
実は、隣県の長野県が男女ともに野菜摂取率が全国で１位でした。岐阜県と長野県を比較した際にどちらかが、かなり都会であるといったこともありませんし、ものすごく特徴的な差異といったものも分かりません。私たちも同じように隣同士の県でこれだけ差が生まれることを疑問に思い、分析も試みましたし、保健所さんにお聴きしたのですが、分からないといった回答でした。
ですが、そうであるからといってこのままではいけないといったことで、岐阜県の「清流の国ぎふ　野菜ファーストプロジェクト」の活動に共鳴する形でこの活動も始まっていきました。今年度で５年目となります。さきほどの野菜摂取率の低さの原因は分かりませんが、野菜摂取率が低い年代はやはり若年層であります。欧米の食文化が生まれた時から溢れていることもありますし、自分自身が若く健康であることもあって、野菜を積極的に採ろうとしていないといったこともあると思います。ですから、ターゲット層として若年層、学生に主眼を置いて活動をしてまいりたいと思います。
●委員
やはり理由の分析がありますと、野菜摂取率向上への活動に幅が広がるのではないかと考えましたので、質問させていただきました。別のデータによりますと、岐阜県の方々は、他県と比べると外食が好きといったデータがあります。外食で野菜をたくさん食べることに繋がりやすいといったことは言いにくいのかなとも思いました。せっかくの良い取組みですので、研究としても成り立つ成果が出ると良いと思いましたので、質問させていただきました。

・市長コメント
５年にわたりまして段階的に活動をいただいており、またその都度しっかり検証して、新たなテーマにチャレンジしていかれていること、大変素晴らしいと思います。またその説明も今回もそうですが、しっかりとまとめていただき、委員の皆さんも分かりやすいものであったことと思います。今発表いただきましたように、来年度の次のテーマはさらに中学生などを巻き込んでの活動ということです。義務教育のうちはお昼については、給食ですので、ある程度栄養士さんによって計画された栄養素、野菜の摂取が期待できます。とすると朝と、夜の食事での野菜等については、やはり家庭といったことになりますから、おっしゃられるように過程を巻き込むといったことが重要なのかなと感じました。ぜひとも次年度は、そこを見据えて活動いただくと、広がりを見せますし、より重層的な活動になるのではないかと思っています。この活動をきっかけにして岐阜県の野菜摂取率が向上すると良いなぁと思って聴かせていただきました。この取組みについて、

中京学院大学さんとしても是非とも発信いただきたいと思います。期待しています。よろしくお願いいたします。

【４．ステップアップ事業審査の進め方について】

≪事務局より説明≫

【５．ステップアップ事業審査】

明世地区まちづくり推進協議会

●委員

ゲンジボタルの育成事業とお伺いしましたが、ヘイケボタルは育成されないのでしょうか？また共生はできないのでしょうか？

○明世

ゲンジボタルの育成となっています。市内でもヘイケボタルは日吉町でも出るところはあるようです。ヒメボタルといったものは大湫でも出るようです。そういった様々な種類のホタルにも携わっていけたらと思いますが、明世では現状、一番光の強いゲンジボタルの育成に取り組んでいきたいと考えています。

またホタルは環境に大変敏感でして、共生はできないものとなっています。

●委員

わたしの子供はマンションが立ち並んでいるような場所で育ったため、まだ一度もホタルを見たことがないです。そういった環境で育った子どももいるので、こういった取り組みは大変ありがたいし、是非とも推進して欲しいと思っています。

そう考えると、小さいうちから親御さんも巻き込んで事業ができるとなお良いと思いますので、ご検討いただけたらいいと思います。

また、農家民宿のような農山村の魅力を発信しつつ、泊まりに来てもらえるようなことも蚤を絡めて行っていけると、都会の方々も田舎の良さを実感してもらえて、さらに良いと思いましたので、これも是非とも検討いただけたらと思いました。

○明世

貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

●委員

瑞浪市でのホタルの発生場所がこの資料に記載があります。いずれも現状・発生しているといったことでしょうか？

○明世

今、瑞浪市ではホタルが飛んでいない地区はないように思われます。陶地区だけは把握しておりませんが、他の地区については、ホタルが飛んでいます。

その昔は、瑞浪市でもたくさんの箇所で沢山飛んでいまして、時代の移り変わり

での影響を多分に受けてきました。産業が栄えることで環境に影響があるようなこともあったということなんです。現在は土岐川もかなり綺麗になってきています。このチャンスを捉えて、瑞浪で沢山のホタルが飛ぶようになることを願ってこの事業を進めていきたいと考えています。

●委員

とても良い取組みですので、是非とも頑張っていただきたい。また、折角ですので、情報発信についても市内外の方に取組み内容やホタルのことを上手く伝えていっていただけると良いと思いますので、よろしくお願いいたします。

・市長コメント

素晴らしい今年度の取組みの発表でした。お疲れ様でした。所期の目的を達成されまして、ホタル育成の土壌が整ったこと、大変に良かったと思います。
また、来年度に向けての今回の発表についても他地区の申請がなかったこともあり、引き続き、今年度の成果が、来年度、相乗効果を生むように活用いただきたいと思います。

夢づくり地域交付金のそもそもの目的・趣旨といったものは、地域の活性化、地域の課題解消になるものですから、ホタルが飛び交うまちになれば、かつてのような環境にやさしい瑞浪の復活に繋がるものであると考えています。明世を発信源として、こうした取り組みが瑞浪全体に繋がっていくとさらに良いと思っています。稲津の小里川でもたくさん、自然発生的に飛んでいますので、これも知ってほしいと思っています。広報みずなみなどでも明世地区の取組みを中心として他地区でのホタルの情報も発信していきたいと考えます。そのためにもぜひ、来年度の第２段階目の取組みについて期待しております。よろしくお願いいたします。

【６．事務連絡】

≪事務局より説明≫

【７．閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫